

# 平成30年度 第1回石狩市文化財保護審議会

日時：平成30年 5月15日（火）9：00～

会場：石狩市役所 402会議室

## 【日程】

1. 委嘱状交付
2. 教育長あいさつ
3. 委員紹介
4. 会長、副会長選任
5. 会長あいさつ
6. 報告事項
  - 1) 平成29年度文化財関係事業について
    - ①文化財関係事業の状況
    - ②研究活動の状況
    - ③プロジェクトMへの活動支援報告
  - 2) 平成30年度文化財関係事業について
    - ①文化財関係事業計画
    - ②平成30年度プロジェクトMの活動支援
7. 石狩小学校円形校舎利活用検討委員会について
  - 1) 検討委員の選出
8. 道の駅石狩「あいろーど厚田」見学

**いしかいの教育は  
「こんにちは」から始めます。**



石狩市教育委員会

※上の絵は、手話で「こんにちは」  
を表しています。

## 6. 報告事項

### 1) 平成29年度文化財関係事業実績について

#### ①文化財関係事業の状況

##### ■石狩市文化財保護審議会 開催状況

第1回	開催日	平成29年6月20日(火)	午前10時～	
	会場	石狩市民図書館	視聴覚ホール	委員出席 4名
第2回	開催日	平成30年3月7日(水)	午後3時～	
	会場	石狩市民図書館	視聴覚ホール	委員出席 7名

##### ■資料館入館者数(平成29年4月～平成30年3月)

いしかり砂丘の風資料館	2,871人
はまます郷土資料館	646人

##### ■講座(別紙1参照)

体験講座	6件
野外講座	3件
講演・トーク等	2件(3回)
計	11件(12回)

##### ■展示(別紙1参照)

テーマ展等	6件
-------	----

##### ■小中学校等の来館利用

団体見学数	10件
-------	-----

##### ■石狩紅葉山49号遺跡を活用した出張授業等

- 石狩小学校：出張授業 平成29年4月12日、来館授業 4月19日(出張授業に関連)  
第6学年/社会(日本の歴史)  
石狩紅葉山49号遺跡から縄文時代について学ぶ
- 紅南小学校：平成29年4月27日(木)  
第6学年/社会(日本の歴史)  
石狩紅葉山49号遺跡から縄文時代について学ぶ
- 緑苑台小学校：出張授業 平成29年6月29日(木)  
第4学年/総合的な学習の時間「わたしたちの住む 石狩市」の学習で  
石狩紅葉山49号遺跡について学ぶ  
：出張展示 6月26日(月)から6月30日(金)まで  
石狩紅葉山49号遺跡からみつかった縄文時代の暮らしと道具

## ■資料館だより「エスチュアリ」刊行

石狩市や石狩周辺の歴史と自然に関する話題、展示資料にまつわる話、調査研究の速報などを掲載。資料館・図書館等で配布・ホームページに掲載（PDF版）

No.53～56

## ■資料館ホームページ公開

開館情報、講座・展示のお知らせ、その他トピック等の情報発信  
14回更新（平成29年度）

## ■「資料館活動レポート」公開

資料館の活動やトピック等の紹介（資料館で閲覧・市民図書館に掲示）  
No.51～77（平成29年度 ※2018年2月末現在）

## ■石狩市内小中学校向け News Letter 2017 発行

学校と資料館との連携授業や活用事例について紹介

## ■ボランティアの育成、活動の推進

いしかり砂丘の風の会（6人、随時）

資料館の展示解説、講座の補助、勾玉造り講座の開催など

石狩ファイル編集委員会（5人、編集会議4回／年）

石狩ファイルのテーマ選定、執筆、編集

ホネボラ（骨格標本製作ボランティア）（8人、随時）

石狩の脊椎動物（主に海生哺乳類）の死体を処理し、骨格標本を製作する

## ■埋蔵文化財保護にともなう協議・調査等

周知の埋蔵文化財包蔵地の有無に関する照会：76件（1月末現在）

埋蔵文化財保護に伴う事前協議：8件（※2件は昨年度からの継続）

→試掘調査：3件、工事立会1件

## ■他施設・他市町村等との連携活動

いしかり館ネットワーク

市の社会教育関連4施設が連携し、よりよい学習機会・情報の提供等を通してまちづくりを進めていくことを目的とする。

加入施設：石狩市民図書館、石狩浜海浜植物保護センター、石狩市公民館

CISE（ちせ）ネットワーク

科学系博物館・図書館の連携による実物科学教育の推進のためのネットワーク。札幌周辺地域（札幌市、石狩市、小樽市、北広島市）の教育施設が連携し、実物科学教育を進める。

主な加入施設等：北海道博物館、円山動物園、札幌市中央図書館、おたる水族館、北広島

市エコミュージアムセンター、石狩浜海浜植物保護センター、他  
事務局：北海道大学総合博物館

### ストランディングネットワーク北海道

北海道内における鯨類の座礁・漂着・混獲（ストランディング）調査の重要性を啓発し、その情報と標本を広く収集して一般市民・学術研究者に公表・配分することにより、海洋と鯨類に関する啓発と理解を深める。

主な加入施設等：酪農学園大学、帯広畜産大学、北海道博物館、国立科学博物館、他  
事務局：北海道大学大学院水産科学研究所

### 北海道縄文のまち連絡会

全道の縄文遺跡のあるまちが集い、共に協力しながら縄文に学び、縄文の知恵を活かしたまちづくり策を探る。

主な加盟自治体：全道27市町村  
事務局：伊達市

## ■報道等（記事掲載、放送）

- 2017.04.02 北海道新聞朝刊（札幌圏）「博物館の学芸員お宝ばなし披露」
- 2017.06.03 北海道新聞朝刊（石狩・当別）「石狩遺産 地図で紹介」
- 2017.06.07 北海道新聞朝刊（石狩・当別）「伊能大図 歩いてみて」
- 2017.08.10 北海道新聞朝刊（札幌圏）「アリジゴクに石狩浜は天国？／札幌大通高生物部が企画展 あす解説も」
- 2017.08.16 AIR-G Sparkle Sparkler 「テーマ展「アリジゴク！～石狩砂丘で生態を暴く～」
- 2017.09 おしゃひろ 2017年9月号 「紅葉山ツアーは11月5日に」
- 2017.09.23 NHK ほっとニュース北海道「石狩市・サケを楽しもう」
- 2017.09.28 UHB みんなのテレビ「キセキの北海道めし『石狩鍋』」
- 2017.10.12 NHK ニュースシブ5時「さかなクン in 北海道 サケを求めて石狩へ」
- 2017.11.16 北海道新聞朝刊（石狩・当別）「『石狩遺産』認定 市民も議論／18日にシンポジウム」
- 2017.11.19 北海道新聞朝刊（石狩・当別）「石狩遺産認定 新たに3件／来年度ツアー『活用へ議論』」
- 2017.11.23 BS ジャパン ミステリアス・ジャパン「川を守る魚の神様～北海道石狩市～」
- 2017.11.25 北海道 Likers 「石狩と鮭」全3回
- 2017.11.29 HBC 今日ドキッ！「北朝鮮？木造船の漂流に対する漂着物学的観点からのコメント」
- 2018.1. 5 NHK BSプレミアム 「新日本風土記—石狩川」
- 2018.1.17 北海道新聞朝刊（地域）「箱枕や古地図、サケの剥製・・・石狩市民のお宝公開／砂丘の風資料館で寄贈品展」
- 2018.1.18 北海道新聞朝刊（地域）「石狩の歴史や自然学ぼう／27日、来月3日に講座～石狩大学博物学部」

## ■紀要の刊行 第8巻 2018年3月発行

## ②研究活動の状況

### ■ 広報いしかり連載「いしかり博物誌」（隔月連載、第 149-154 回）

- 149. 不老不死のクラゲ（志賀）
- 150. 漂着した魚たたき棒（石橋）
- 151. 菓子木型と屋号（工藤）
- 152. 土器文様と「時」を追う（荒山）
- 153. 800年前の涙（志賀）
- 154. 土器に残された「なおす技・こわす技」（荒山）

### ■ 研究成果の公開

#### 論文等

- 鈴木明彦・圓谷昂史・志賀健司・小林真樹・石川慎也 2017 北海道沿岸へ漂着した暖流系浮表性巻貝類とクラゲ類. 地球科学 71: 89-91.  
工藤義衛・坂本恵衣 2018 石狩郡諸調. いしかり暦（石狩市郷土研究会誌）

#### 学会発表等

- 志賀健司 2017 北海道に漂着した鯨類で漂着物に関する社会教育をすること～ビーチコーマーさんの足下には死体が転がっている～. 日本セトロロジー研究会第 28 回大会（2017年6月 札幌）  
志賀健司 2018 石狩川の漂着物に見える海と川とのつながり. 石狩川流域湿地・水辺・海岸ネットワーク第2回フォーラム（2018年1月 札幌）  
工藤義衛 2018 義経の涙岩について 石狩市郷土研究会例会（2018年2月）  
志賀健司 2018 石狩浜のコウイカの大量漂着と殻に見られる食痕. 北海道自然史研究会 2017 年度大会（2018年2月 小樽）

#### その他

- いしかり砂丘の風資料館編 2017 ★トピック解説★「土器文様の不思議—石狩市内の遺跡から—」（テーマ展リーフレット）

### ■ 講師派遣等

- 2017.04.01 「北の学芸員とっておきの〈お宝ばなし〉—北海道で残したいモノ 伝えたいコト」出版記念トークショー 札幌紀伊國屋書店（志賀）  
2017.04.12 出張授業「石狩紅葉山 49 号遺跡から縄文時代について学ぶ」石狩小学校（荒山）  
2017.04.25 出張授業「自然環境論③『石狩の自然』」藤女子大学（志賀）  
2017.04.27 出張授業「石狩紅葉山 49 号遺跡から縄文時代について学ぶ」紅南小学校（荒山）  
2017.06.29 出張授業「石狩紅葉山 49 号遺跡を学ぶ」緑苑台小学校（荒山）  
2017.06.29 地域おこし協力隊への野外観察指導「古潭の海岸」（志賀）  
2017.07.17 ISHIKARI SAND FESTIVAL トークイベント あそびーち（志賀）  
2017.07.23 北海道ボランティアレンジャー協議会研修「ウミベオロジー／石狩海辺学

- を学ぶ」(志賀)
- 2017.07.28 石狩市教職員サマーセミナー「石狩歴史ヒストリア in 本町・八幡」  
(工藤)
- 2017.08.01 石狩市教職員サマーセミナー「石狩歴史ヒストリア in 厚田」(工藤)
- 2017.08.05 いしかり海辺ファンクラブ「いしかり浜ナイトウォーク(ビーチコーミング、星空観察)」(志賀)
- 2017.08.08 高文連石狩支部理科専門部/生徒研修会兼顧問研修会「望来の油田・地層と化石」(志賀)
- 2017.10.02 石狩市 まちづくり出前講座「石狩考古学」/学び交流センター(荒山)
- 2017.10.08 文化財講演会/福島県文化財センター白河館・まほろん(荒山)
- 2017.10.22 石狩灯台 125 周年記念事業「灯台女子のカフェトーク/石狩灯台と本町地区の歴史について」マウニの丘(工藤)

## ■その他(調査研究・教育普及活動関係)

2017 年度 北海道考古学会奨励賞 受賞(荒山)

## ■厚田区・浜益区文化財調査活用事業

浜益区にある歴史的建築物「八田醤油店」の調査を行った。

4月27日オープン予定の道の駅展示施設で公開する自然遺産の映像資料作成のためのドローン撮影を行った。撮影地点：浜益平野・幌集落・黄金山・白銀の滝等

## ■史跡看板整備事業

平成 29 年 7 月に浜益区の史跡「ハママシケ陣屋」の解説看板及び陣屋敷地内部の順路に案内看板を整備した。

## ■厚田学・浜益学講座開催事業

厚田区及び浜益区に関する歴史・産業・文化・自然等の魅力について理解を深めるため、「厚田」「浜益」で学ぶ講座等を開催した。

講座実績

- 2017.05.30 第1回「浜益の歴史とまち歩き」
- 2017.06.27 第2回「厚田の歴史とまち歩き」
- 2017.07.15 第3回「浜益のお祭りと果樹の歴史」
- 2017.09.28 第4回「望来・聚富の生産者めぐり」
- 2018.03.23 第5回「厚田・浜益の歴史と文化を読む」(予定)

## ■「プロジェクトM」の活動支援

・「プロジェクトM」とは

石狩市の自然、歴史、文化など、さまざまな魅力を見つけ出し、また、広めながら、市民の交流や地域の活性化を目指す市民グループ。会員 15 人。

石狩市の自然遺産・文化遺産、エコミュージアムに関する活動  
解説パンフレット編集、勉強会等

- プロジェクト M の活動

- 「石狩遺産」の選定

平成 29 年 11 月 18 日「第 1 回石狩遺産シンポジウム」において新たな「石狩遺産」が 3 件認定された。

石狩遺産第 004 号 大都市近郊に残る奇跡の砂丘・石狩海岸の自然

石狩遺産第 005 号 防風林～旧石狩市域に江戸末期及び明治開拓期に残る防風林群と石狩湾  
新港建設に伴い計画的に造成された遮断緑地～

石狩遺産第 006 号 石狩の油田～道内最大級の油田の歴史と石油を生んだ地層

- 石狩遺産の「タネ」の募集

石狩に関する自然や歴史、文化などを有形無形にかかわらず「石狩遺産」を構成する要素となる“タネ”を市民から募集し、全部で 27 件の「タネ」が集められた。

- 「石狩遺産」をめぐるツアーの実施

平成 29 年 11 月 5 日に昨年度認定された「石狩遺産第 002 号 紅葉山砂丘～6000 年前の海辺から陸地への変化と人との関わり」に基づいて作成したマップをもとに現地を巡り歩くツアーを実施した。(参加人数 15 人)

## 2) 平成30年度文化財関係事業計画について

### ①文化財関係事業計画

#### ■講座（別紙2参照）

体験講座や野外講座その他講演・トークなどを行っていく。

#### ■展示（別紙2参照）

毎年何らかのテーマを決めて展示を行う。

#### ■石狩紅葉山49号遺跡を活用した小・中学校における出張授業・出張展示

依頼のあった学校に対し、出張授業や展示を行う予定である。

#### ■厚田区・浜益区文化財調査活用事業

北陸地方との交易の歴史を背景とした文化財の調査や自然遺産の映像資料作成のためのドローン撮影のほか、ユーカラに関する調査を行う。

#### ■史跡看板整備事業

浜益区の史跡「ハママシケ陣屋」の解説看板を設置するほか、遊歩道の環境整備を進める。

#### ■厚田学・浜益学講座開催事業

厚田区及び浜益区に関する歴史・産業・文化・自然等の魅力について理解を深めるための講座を実施し、ガイドボランティアの育成を図る。

#### ■石狩小学校円形校舎利活用事業

学校統合後の石狩小学校円形校舎活用検討委員会を立ち上げ、今後の利活用について検討する。

#### ■プロジェクトMへの活動支援

- 新たな「石狩遺産」の選定  
昨年度認定された石狩遺産6件に次ぐ認定を行う。
- 石狩遺産の「タネ」の募集  
「石狩遺産」を構成する要素となる要素となる“タネ”を市民から募集する。  
石狩に関する自然や歴史、文化などを有形無形にかかわらず受け付ける。
- 「石狩遺産マップ」の作成  
新たに認定された「石狩遺産」めぐるマップを作成し、配布する。
- 「石狩遺産」をめぐるツアーの企画  
作成したマップをもとに現地を巡り歩くツアーを実施する。



## 7. 石狩小学校円形校舎利活用検討委員会について

### ①石狩小学校円形校舎利活用の具体策について

平成32年3月に廃校が決まっている石狩小学校の校舎の利活用に関し、市議会において以下のやりとりがあった。

(平成29年度第2回定例会一般質問)

(花田議員)

平成32年度に目途に八幡小学校と統合する石狩小学校は地域のシンボルであり、円形校舎として道内で現存している最古の校舎であることから、保存を望む声が多数聞かれますが、この校舎の利活用をどのように考えているのかを伺います。

(教育長答弁)

教育委員会では同校の校舎を市の歴史を語るレガシー（遺産）と位置付け、統合後は歴史館的な施設として活用する具体策について検討会を設置し、専門家や地域の声を聞きながら、グラウンドや体育館も含めた総合的な利活用について構想を取りまとめて生きたいと考えております。

### ②石狩小学校円形校舎利活用検討委員会について

平成30年度から石狩小学校円形校舎利活用検討委員会を立ち上げ、今後の利活用について検討する。

検討委員会の概要

定員 10名

任期 平成30年6月から平成31年10月（平成30年度は6回程度開催予定）

構成 ・学識経験者 6名

（うち文化財保護審議会から2名）

（その他 考古学・教育学・地質学・建築史に造詣の深い方をお願いする予定）

・地域代表 4名

・かつて廃校となった校舎を利用している施設に関わった人達をアドバイザーとしてお話を伺う。（北広島エコミュージアム・富良野市博物館・建築関係者）